

## 第62回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和4年7月25日(月) 18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(部会長) 神谷博達 (部会員) 安宅錦也、合田美津子、仲川弘誓、大坂倫一 (読書活動家) 高木三千子、須藤和恵、松山哲男、武者正樹、 松平孝子、河上邦子 (事務局) 大越智輝、佐々木健、相馬杏
欠席者	(副部会長) 大熊龍也 (部会員) 佐藤文子、磯田大治 (庁内委員) 館下貴子、古村健
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	第62回「育み部会」資料(部会長作成) 絵本コーナー開催時の写真、担当者のアンケート (事務局作成)

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

### ○会議の要点

#### 1. 育み部会絵本コーナーについて

##### (1) 第6回絵本コーナー(7月16日)の振り返り

- ・「おはなしぽけっと」のお話会を開催。
- ・開催時間は10:00～13:00
- ・来場者は3組(大人3・子ども3)。3組とも絵本コーナーを目指して来場されたため滞在時間も長く、3組ではあったが賑わっていた。
- ・買い物にいられたお客様には風船などのプレゼントを渡し、絵本コーナーの開催を宣伝をしたが、来場される方はいなかった。
- ・来場された方には、子どもの年齢に合った読み聞かせや布おもちゃなどを使った遊びを実施。
- ・今回の絵本コーナーでは、塗り絵や布おもちゃの他に折り紙も用意した。来場された小学生のお子さんに折り紙で駒や手裏剣を作る方法を教えたところ、自宅に帰った後も折り紙をしているとお母さんからご連絡をいただいた。

##### (2) 絵本コーナーの愛称について

- ・前回の部会で絵本コーナーの愛称の決め方について協議し、時間がかかってもPRを兼ねて市民から募集する方向となった。

- ・募集開始日については、各学校の夏休み明けを想定し、8月23日（火）とした。
- ・募集期限は9月末までとしていたが、9月末の部会で愛称を選考できるよう、9月23日（金）までとする。（10月27日～11月9日読書週間）
- ・結果の発表については、本人への連絡と市ホームページに掲載予定。
- ・愛称募集の結果を市広報紙に掲載することは可能か？  
→9月末までに愛称が決定した場合は11月号への掲載を依頼する。
- ・募集した愛称の中から、9月末までに決定できない場合、広報紙へ掲載をやめることは可能なのか。  
→9月末までに愛称が決定していれば広報紙への掲載を依頼するが、決定していなければ依頼はしない。
- ・募集した中から愛称を選出することに時間をかける必要はないのでは。PRを兼ねて愛称を募集するため短期間で決めるべき。
- ・愛称の募集が1つもなかった場合は、読書活動家の皆さんからいただいた愛称から選出したことを広報に掲載したい。
- ・PRを兼ねて愛称を募集するなら、新聞にも掲載依頼をしてほしい。
- ・応募方法については、QRコードを使用し、1人何点でも応募可能とする。
- ・選考方法は、育み部会の中で協議し1点を選出する。
- ・選考基準について、これまでの部会で協議し、「親しみやすく呼びやすい」「絵本コーナーの会場（アーニス）をイメージできるもの」「育み部会の基本的考えが伝わるもの（絵本や読書だけを連想させるものではなく）」としている。
- ・採用された方の賞品については、事務局で調整中。
- ・賞品については、愛称募集の際には告知できない可能性があるが、その場合でも選出された方にお渡しする。
- ・市民から募集した案の中からではなく、読書活動家の方の案を選出した場合、市民から選考方法等について苦情が入る可能性があるため、読書活動家の中から選出した場合は賞品なしとしてもよいのではないか。
- ・絵本コーナーにちなんで図書カードを贈呈するのはどうか。  
→金券については、予算がないため用意することは難しい。
- ・企業が育み部会の活動に賛同し、図書券を寄附していただくのはどうか。
- ・賞品ではなく、賞状などを贈呈するのはどうか。
- ・今回の募集は市民を対象に募集するものなので、子どもなら賞状でも良いと思うが、大人に賞状を渡すというのはいかがなものか。

### （3）その他

- ・絵本コーナーについて、新聞社に取材してもらうのはどうか？  
→絵本コーナー開設時などに事務局から情報提供を行い取材していただいた。  
今回の愛称募集についても可能な限り情報提供を行う。

- ・賞品や賞状にしても、選出された方へお渡しをするのは、絵本コーナー開催時に、絵本コーナーの会場で行うのが良いと思う。
- ・絵本コーナー開催時にお話会を開催して、来場者数が3組と数字で見ると少なく感じるが、数ではなく中身が重要なのではないか。3組とも1時間以上滞在し、お話会を楽しんでくれたことがとても大切なことであると思う。
- ・前回のお話会では、お話を聞いた後、違うもので遊んで、またお話を聞いたりしていた。絵本を読むだけではなく、塗り絵や折り紙、布おもちゃのように、お話だけではなく遊べる工夫も大切だ。
- ・来場された親御さんの話を聞くと、アーニスに掲示している「絵本コーナー開催」のポスターを見て来場したとのことなので、ポスターは非常に有効である。
- ・絵本コーナーのポスターには、開催場所について「アーニス2F」と記載しているため、図書館アーニス分館に行った来場者がいた。アーニス分館の前にも、案内看板を設置して、絵本コーナーに誘導する必要がある。
- ・絵本コーナー開催の周知をする際に、絵本の読み聞かせを行う団体名や時間帯も記載すると良いと思う。
- ・絵本コーナーに布おもちゃを常設すると良いと思う。
- ・絵本コーナー開催時にお借りした布おもちゃはすべて「布の絵本ボランティア会」から借りている。以前にそのボランティアからなにか作ってほしい布おもちゃはないかと聞かれたことがあり、時間は必要だが布おもちゃを作ってもらうのは可能ではないか。  
→読書活動家の方より「布の絵本ボランティア会」に、布おもちゃを作ってもらえないか、聞いてもらうことになった。
- ・絵本コーナーを開催する中で、育み部会の絵本コーナーの活動を今一度振り返る必要があると感じている。
- ・来場者の人数は少ないが、中身が重要であるとするならば、絵本の読み聞かせだけではなく、どのようなものを提供するかなど、中身に目を向けなくてはならないと思う。
- ・絵本コーナーにお客さんが何を求めているのか、何に関心があるか、保育園や幼稚園の先生から情報を得ることも必要なのではないかと思う。
- ・読み聞かせの詳細を予め周知するのはどうか。何時頃に何の絵本を読むのかがわかるとお客さんが来場しやすいのでは。
- ・読み聞かせする絵本を予め周知するのは良いと思うが、来場するこどもの年齢層が広いため、予め絵本を選ぶのは難しい。
- ・読み聞かせの詳細の周知については、読み聞かせを行う各団体によって決めるのが良いと思う。
- ・以前商業施設で読み聞かせを行ったときに、通路など人目に付くところで行った。観光経済部の執務室の前や、アーニス内の通路などで読み聞かせを行うのも良いと思う。

→現在絵本コーナーを開催している「あえる STATION」をお貸りする際に、アーニス事務局長と場所について協議し、いくつか館内でお貸しいただける場所を提案していただいたので、開催場所については事務局長に相談してみる。

- ・アーニス1階に設置してあるモニターに、絵本コーナー開催時の映像や写真を写すのも良い宣伝になると思う。
- ・子どもだけではなく、大人にも読み聞かせを行いたいという思いがある。

#### (4) 今後の予定

次回(第7回)絵本コーナーは8月20日(土)10:00~12:00開催。  
「EHOボラ」による読み聞かせを実施。

#### 2. 次回の育み部会について

日時：令和4年 8月29日(月) 18:00に開催  
場所：アーニス2階 あえる STATION

- ・育み部会の開催について毎月開催日が固定されている方が集まりやすい。
- 最近の開催日は毎月最終月曜日に開催しているため、今後も原則は毎月最終月曜日で開催することとする。